

大田区古墳時代

— 副葬品を中心に —

2/18(土)

14:00~15:30



講師

大田区立郷土博物館 学芸員

齋藤 あや



宝萊山古墳出土ヒスイ製勾玉
(大田区立郷土博物館提供)

大田区では、田園調布周辺を中心に4世紀から7世紀まで古墳が造られ、さまざまな副葬品が出土しています。この講座では、青銅製の鏡、身を飾る勾玉、管玉、ガラス小玉などの玉類、鉄製の武器である槍(やり)や刀などの出土資料を紹介し、考古学的な視点から、大田区周辺における古墳時代の墓の在り方やモノの流通についてお話しします。

対象 高校生以上

※大田区在住在勤在学の方

定員 24名

会場 洗足区民センター

申込 事前申し込み制・先着順

1月11日(水)9時より

窓口または電話にて受け付けます

講師紹介

齋藤 あや(さいとう・あや)

日本大学大学院博士前期課程(修士)修了、日本大学大学院博士後期課程(博士)満期退学。東京国立博物館非常勤職員、明治大学校地内遺跡調査団特別嘱託、藤沢市教育委員会埋蔵文化財業務員などを経て、現在は大田区立郷土博物館考古担当の学芸員。専門は日本考古学。特に弥生時代~古墳時代の玉類が研究対象。主な著作物は、当館特別展図録『土器から見た大田区の弥生時代』(2017年)、『勾玉』(2022年)など。



空から見た多摩川台公園周辺の古墳
(森昭氏撮影、大田区立郷土博物館提供)



お問い合わせ・申込先

主催 大田区立洗足区民センター

〒145-0064 大田区上池台2-35-2 TEL 03 (3727) 1461